



2-6 JICA 関西訪問 生徒たちの感想（一部抜粋、原文そのまま載せています）

・国際協力では、先進国が途上国を助けるだけではなく、相互に助け合うことが大切だと教えていただきました。実際に、私のイメージの日本は、途上国に支援する立場だと思っていました。しかし、それは違いました。2011年、日本は、世界で一番助けられた国になりました。東日本大震災での被害に、世界中の国々が駆けつけてくれました。そこには、自分の国でさえ大変な途上国の国々も日本へ支援をしてくれました。このような助け合いの精神に、国境を越えた人間の絆を感じました。とはいえ、助け合いがあったのは、日本も同じように支援や協力をしてきたからです。周りとの繋がりがあってこそ、助け、助け合える。自分が何かすることで、相手も同じように行動すると相互扶助に気づくことができました。

・JICA 海外協力隊のお話ではラオスに二年間派遣された方の経験を聞いてとても興味深かったです。（中略）自分の当たり前を世界の当たり前だと思わずにきちんと調べることが大切だと気付かされました。

また、派遣後も一度関わりを持った国との繋がりがあってすごく素敵だと思いました。女性の方は軽く友達と遊んでご飯食べて…と話されていましたがそれを当たり前の様にできるまでにたくさんの努力をしたのだと感じました。

私も将来こんな風に自分の好きな事やしたいことに思い切り挑戦したいと思いました。国際についてだけでなく色々なことについて学べた充実した一日でした。

・私は中学生の時、青年海外協力隊経験者でニジェール共和国での活動経験がある先生の話聞いた事があるのですが、今日樋口さんのお話になられたことと共通している事があると気がつきました。それは「極端に違う異文化に対して一切悪い印象を抱いていない」という点です。ニジェール共和国も決して裕福ではない国なのですが、そこで活動なさっていたその先生もその国でしたこと、あったことをとても楽しそうにお話しされていました。この「異文化に対して一切嫌悪感を抱かない姿勢」が非常に重要であるということが樋口さんの話とその先生の話聞いて気づく事ができたことに加え、より一層確信を持つ事ができました。

・海外青年協力隊のお話を聞いて、自分も将来やってみたいかと思いました。（中略）まだ話を聞いただけなので、海外青年協力隊についてもっと調べて、もし興味や自分ができること分野があったら、愛美さんから聞いたお話を活かして、派遣先で試行錯誤しながら取り組んでみたいと思います。それと、『自分の価値観(エゴ)を押し付けていないか』という話も、この先海外に行かなくても国内で普段暮らしてる中で意識したいことだなと思いました。

・全体を通じて、見た目だけで決めつけてはいけないなと思いました。（中略）最後のワークショップでもとてもおもしろかったです。みんなで考えたり、一人で考えたり、とても興味深かったです。今まで考えたことのないこともたくさんありました。楽しいだけではなく、とても考えさせられる1日になりました。

・1番驚いたのは最初の説明で**2011**年の被援助国**1**位が日本だと言われたこと。世界中から多くの支援を受けていたのは知っていたがまさかその額が途上国への支援よりも遥かに上回る額だとは思わなかったし、自分の中では支援を行っているのは欧米などの先進国だけという認識がすでに固まっていたので途上国からも支援を受けていたのは特に驚いた。(中略)

個人的には海外活動の仕方にはこんながある、というのを知れたことが**1**番の収穫だと思っている。私は大学で**1**度海外で活動したいと思っているがあまりビジョンが見えていないので「こういった形があるんだな」と知れて良かったと思っている。

・まず最初の話で、開発途上国と言われる国が**150**もあることに驚きました。それに重ねて開発途上国と呼ばれているのものすごく発展してるように見える場所もあることに驚きました。

また、東日本大震災が起こった年に日本が**1**番支援を受けていたということにも驚きました。それはあまり日本に協力してくれる国がないと勝手に思っていたからです。その中でも貧困国からの支援があったことに驚きました。そこで、日本の普段の支援活動がとても良い影響を与えていたものなんだと気づきました。(中略)

ワークショップではそれぞれ意外と考えることが別で、それぞれの考えがあり、それらには一つ一つに理由があって意見共有が楽しかったです。

この**JICA**学習ではワークショップなども通して同文化でも考えていることが違うのだから異文化ではもっとちがうこともありそれぞれの良さがあることに気づくことができました。そのおかげで今まで持っていた勝手な偏った考え方も変わることができました。

・**JICA** 関西の取り組みを知ることができ、今の自分たちがどれだけ恵まれているのかを改めて実感しました。そして、当たり前ではないことを当たり前だと思えるこの環境に感謝し、当たり前だと思わず生きていく大切さに気づかされました。今回学ばせていただいたことを基に、今の自分、そして大人になった未来の自分に何ができるのか、自分でも人の役に立てる方法を考えていきたいです。そして、私もいつか協力隊の方々のように誰かの支えになったり、誰かに必要とされる存在になりたいです。

・ワークショップを通して、自分は人と違う意見になることが多くて物事の捉えかたや価値観が人によって違うということを感じました。それは国のこととしてみてもそうで、全ての国が同じ意見になることはないと思ったし、その**1**つ**1**つの意見がそれぞれ尊重されるべきだと思いました。人によって違うことは当たり前だし自分も最初はみんなと違う意見だったことに間違えたかなって思ったけど間違いなんてないからって仰って、人と違う意見でも自分の思いをしっかり持ちたいなと思いました。

・今まで目の前のことばかりで世界という大きなものに目を向けたことがなかったので、すごく貴重な体験になりました。世界ではたくさん問題が起きていて、それをなんとかしたいと思っている人達いることがとても素敵でした。中でも樋口愛美さんの話はとても印象に残っています。つい注目しがちな他文化と自文化の「違い」ですが樋口さんの言っていた「似てるを見つけて心を近づけ違いにラオスさを感じる」のようにその違いこそがその国らしさなんだという考え方がとても素敵だと感じました。(中略) **JICA**ではたくさん初めて知ることがあってとても勉強になったし、たくさん貴重な体験をさせていただきました。このことを踏まえて今後の自分の行動に少しでも活かしていけたらなと思いました。目の前のことだけでなく、世界にも目をむけて考えられる人になれるように努力したいです。